



もと
うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第77号

発行日

2013年10月19日

(毎月19日刊行)



司書のオススメ本

～孫育てのコツが分かる本～

<企画展示コーナーから選んでみました>

共働きのため、おじいちゃんおばあちゃんに子どもを預けることが多い我が家。そのせいか、娘(4歳)は、親でも知らない讃岐弁を遣うことがあります。

「お母さんまだ帰らんの?さぶしいのお。」私の帰りが遅いとき、娘が言ったそう。ちなみに、「さぶしい」とは「淋しい」という意味の讃岐弁ですが、「さぶしい」を遣う4歳児は、あまりいないと思います・・・。

方言は「ダサイ」と言われることがある一方、見直される向きもありますね。某ドラマで有名になった「じゃじゃじゃ!」は今年の流行語大賞の有力候補だとか。どうぞ、この流行が一過性で終わらず、讃岐弁が彼女の人生にプラスに働いてくれますように。(T)

<おススメbook>



『「人生案内」孫は来てよし、帰ってよし』
大日向雅美, 読売新聞東京本社/著
東京堂出版/刊

『祖父、ソフリエになる』
NPOエガリテ大手前/編
メディカ出版/刊

『孫と楽しむ手の仕事 おばあちゃんの出番!』
田中周子/著
大月書店/刊



新しい本が
入りました。
()内の数字は
棚の番号です

『産前・産後の筋肉&
骨盤ケア』
山田守寿/著
現代書林/刊
2013.9
(支援1-2)

『タオル地で作る赤
ちゃんのおもちゃと小
物』
ブティック社/刊
2013.8
(支援2-1)

『どうしたらうまくい
く?きょうだい子育て
で』
コモ編集部/編
主婦の友社/刊
2013.8
(支援3-2)

『発達障がいのある子
のコミュニケーション
力を鍛える』
堀一夫/編著
明治図書出版/刊
2013.8
(支援4-3)

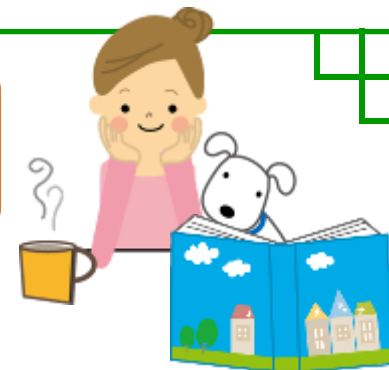
企画展示「おじいちゃん おばあちゃんも楽しんで!～孫育て応援本～」展
子育て支援コーナーにて、平成25年11月24日(日)まで開催中!

おとなも読みたい！

ホッと

絵本

(第14回「子どもへの愛②」)



子どもが初めて保育所や幼稚園に行くとき、家族とのお出かけより友だちと遊ぶ方を選んだとき…子どもが成長し、自立していく過程で、嬉しい反面、寂しさを感じる時があります。

でも、「可愛い子には旅をさせよ」。愛しているからこそ、子どもから離れることも必要ですね。今回は、そんな瞬間を描いた本をご紹介します。

『ずっとママといっしょがいいの！』

ヒド・ファン・ヘネヒテン／さく 野坂悦子／やく 主婦の友社

カンガルーのこども、ベビルーは、ママのおなかのふくろが大好き。ふわふわいきもちで、すごく楽ちんなのです。ママが、大きくなったのだから、自分の足で外に飛び出すように言っても、外の世界がどんなに素晴らしいか説明しても、聞きません。

さて、ベビルーはいつになったら、広い世界へ飛び出していけるのでしょうか。

読みながら、甘えん坊のわが子とベビルーの姿が重なる方も多いかも知れませんね。



『あいしているから』

マージョリー・ニューマン／ぶん パトリック・ベンソン／え
久山太市／やく 評論社

モールくんは、巣から落ちたひなどりを見つけて、家に連れて帰りました。友だちやママに助けをもらいながら、懸命に育て、ひなは大きくなっていきました。(ひな鳥を育てた経験のある方はよく分かると思いますが、ひな鳥を育てるのは、本当に難しい事ですね。)

ひな鳥が成長し、羽ばたきを始めても、モールくんは、放してやろうとしません。「だって、あいしているんだもん。」

「親離れしようとしている子と阻止しようとする親」によく似た状況ですが…。モールくんは最後に勇気ある決断をします。

(T)

「おとなも読みたい！ホッと絵本」は終了します。

「おとなも読みたい！ホッと絵本」は今回が最後となります。次回からは、新連載「わが家の子育て with books」がはじまります。

子育てに役立った本、読んで癒された本、親子で楽しんでいる絵本などをエッセーともにお届けします。お楽しみに！



編集後記 8月末に、子育て支援コーナーの延べ貸出冊数が20万冊を突破しました。2007年6月に誕生し、はや、6歳と4ヶ月。多くの人に助けられながら、すくすくと成長しています。(T)